

●代表質問とは？

2人以上所属する“会派”の代表者が、毎年の12月定例会と一般選挙後の最初の定例会で行います。（各会派の質問持ち時間は〔基礎時間40分＋（会派所属議員数－1）×5分〕となっています）

●会派とは？

市議会の中で、主義、主張等を同じくする議員で構成された団体のこと。1人でも会派を作ることができますが、代表質問をすることはできないことになっています。



男性介護者との相談の様子

◆男性介護者への支援を

問 在宅介護者の4人に1人は男性介護者といわれるが、その状況と支援の内容は。

答 市内の在宅介護者1千600人のうち約400人が男性介護者と推計される。介護保険サービス事業のほか、「介護講座」やリフレッシュ事業を実施しているが、女性に比べて参加が少ない。社協が「男性介護者の集い」を毎月開催し、「男介護かわら版」の発行等を行っている。女性とは違う内容の支援を考えながら、連携していく。

◆魅力ある都市農村交流を

問 勝弦地区には、チロルの森やゴルフ場、民間研修施設、遊休耕作地等が半径1kmの範囲内に点在しており、スポーツや農業体験を組み合わせた都市農村交流の可能性が高い

が、どうか。

答 継続的な交流には受け皿と地元関係者の努力や意欲が不可欠。市民参画による農村地域の活性化を支援したい。

◆太陽光発電は来年度増額へ

問 太陽光発電の普及実態と今後の補助率のかき上げ方針はあるか。

答 普及状況は例年の2倍と需要が多く、新年度は増額したい。

明 政 会

質問者 森川 雄三
古厩 圭吾・塩原 政治
五味 東條

質問持ち時間55分

合併特別債の状況

◆合併債

問 現在までの発行額と今後の発行予定額については。

答 限度額が建設事業分103億6千万円、基金造成分13億8千万円である。平成21年度までに、建設分37億6千万円余、基金分9億9千万円余である。現行の財政フレームで平成22年～24年までに建設分で、18

億7千万円、基金分で2億8千万円余を試算している。

問 基金の最終の予定額は。また利用計画は。

答 13億8千万円積み立てた。利用は合併による一体感

◆19号拡幅と桜沢バイパス

問 新設となり、塩尻北拡幅及び桜沢バイパスの来年度予算要求が0円～1億円とのこと、事業の遅れ等大変危険するが、どのように捉えているか。

答 塩尻北拡幅は、21年度予算で対応されているため、工事費については完成まで確保されていると聞く。桜沢バイパスに関しては、具体的な工事費の予算付けに、見通しが立っていないとのこと、今後国に対し事業進捗を求めたい。

◆中心市街地活性化

問 ヨーカ堂に対し後継テナントが決定次第交渉との考えだが、決定しなかった場合はどうするか、空きビルにしておくのか。一方で空きビル再生事業の申請をするといった矛盾も感じる。また一商業施設に行政が当事者として係わることに、疑義も聞かえるが。

答 条件がそろわないと判断

が難しい局面となる。様々な事態に備えて研究している。民間の経済原理だけに任せて、地域に相応しくない施設が出来ることを防ぐ意味でも、係わりが必要と考える。

問 撤退期限が迫る中、もう少し踏み込んで交渉すべきと感じるが。

答 基本的に後継テナントが決定してからの交渉だ。今後相手方の状況で判断したい。

◆農業政策

問 自然災害や価格低迷により大変厳しい年であった。農業共済に対する期待は大きい。期待はずれであれば、共済加入を考え直すといった声も聞く、今年度の果樹共済の支払状況はいかがか。

答 共済金支払額は約2千230万円となっている。りんごは22年初めに予定されている。



国道19号桜沢バイパストンネル予定地付近